

社協 おうたき

第

52

号

平成25年 7月 1日発行

社会福祉法人
王滝村社会福祉協議会

〒397-0201

長野県木曾郡王滝村 2830-1

TEL 0264 (48)2008

FAX 0264(48)3033



笑って!たのしく!
健康づくり

平成24年度事業報告...2~4p

平成24年度収支決算...5~6p

はじめよう!ボランティア...7p

ふれあい元気づくり教室

楽しい体操や音楽療法教室など、今年から新講師も加わりメニューも盛りだくさん。お茶を囲んでのおしゃべりも、健康づくりには欠かせません!

平成24年度おもな事業の報告



◇ 地域福祉推進事業



ボランティア・広報・啓発

1. ボランティアの育成・支援

登録ボランティア 14メニュー 108名
ボランティア講座 2回実施 参加者44名

その他、ボランティア新年交流会や、お楽しみ弁当づくり隊勉強会等を実施。

2. 第23回福祉・健康の集い（社会福祉大会）

『あなたの願い、私の想い つなげよう心とこころ』
9月2日 参加者300名

3. 福祉教育

小中学生夏休みボランティア体験

体験 5メニュー 参加者63名

その他、デイサービス等で子どもたちとお年寄りの交流会や、小中学生の福祉体験教室、配食弁当のメッセージカードづくり等を実施。

ボランティア体験
小中学生が夏休みにボランティア体験。絵手紙をうちわに描いて、デイサービスのお年寄りに届けました。



障がい者のふれあい交流
障がいを持たれた皆さんの交流の場を増やそうと、恒例の希望の旅に加え、「ふれあい交流会」を新たに実施しました。



ボランティア養成講座

新しい方からベテランの方までが、一緒になってボランティアについて基礎から学び直そうと熱心に受講。

	実施回数	利用者	延利用回数(前年度比)
1 どんぐり広場	12回	9組10名	78回 (△4名)
2 ミニ児童館 高齢者エアロビクス	245日	49名	429回 (△6名)
3 ふれあい元気づくり教室	12回	29名	202回 (△64回)
4 お楽しみ弁当	12回	40名	419回 (△21回)
5 ごたくらぶ	12回	13名	78回 (△12回)
6 会食会	1回	79名	- (△4名)
7 障がい者希望の旅	1回	10名	- (△4名)
8 障がい者交流会	2回	12名	- (+9名)
9 金銭管理・財産保全サービス	36日	1名	48回 (+4名)

ともに支え合える地域づくりを!

地域福祉事業は、住民参加により地域の皆さまでもにつくり上げる諸事業です。今後、村内においては、支える側の人口に対し支援が必要な方の人口が増加すると考えられるなか、今後の地域の「ふくし」のあり方をともに考え、見つめ直すことが益々重要になっています。

ボランティア活動では、多くの方が長年に渡り「縁の下の力もち」として活躍されていますが、若い方や男性等の新たなボランティアの育成も急務となっています。又、会費等の独自財源の減少により、地域福祉サービスの財源の確保も課題となっています。

地域支え合い活動の促進

地区サロンと情報交換会

11月1日 東地区情報交換会 参加者22名
『地域の防災力をアップしよう!』(県政出前講座)、ミニ介護教室 他

7月31日 滝越地区サロン 参加者8名
『皆で話そう!“元気の源”』他(住民課共催)



滝越地区でサロンを開催
若い頃の思い出や苦労話し、郷土への思いをたくさんお聞きすることができました。



◇ 資金貸付事業

貸付件数/残高 2件 (310,000円)

☆新規貸付 - 件



福祉・健康の集い
中学生が作業所の販売
をお手伝い。たくさん
の交流がありました。



いきいきサロン

どんぐり広場と交流会。ばあちゃんたちの笑顔がすてきです！

ごたくらぶ

恒例の餅つき大会の後に、どんぐり広場のこどもたちと「じゃんけんポン！」。



どんぐり広場
小学6年生が手づくり
遊具を持参して、こども
たちとふれあい。



配食サービス

小中学生が夏休みに、ひとり暮らしのばあちゃんにお弁当を配達。

◇介護予防・生活支援事業



	実施回数 (日数)	利用者	延利用回数(前年度比)
1 いきいきサロン	12回	12名	96回 (△11回)
2 配食サービス	490回	17名	3,298回 (+775回)
3 生活支援ホームヘルプ	16日	3名	16回 (△31回)
4 介護教室	5回	67名	80回 (△8回)
5 介護者リフレッシュ	4回	17名	34回 (+12回)
6 外出支援サービス	226日	47名	798回 (+95回)
7 軽度生活援助サービス	36日	5名	37回 (△21回)
8 心配ごと相談所	13回	-	11回 (△3回)

生活支援サービスの

利用が大幅に増加

配食サービスの利用が、月平均+65回(前年度比131%)と大幅に増加。特に、ひとり暮らし世帯等で毎日利用される方の増加により、1人当たりの利用回数が月平均22回(同121%)と増加しました。

外出支援サービスでは、特に、木曾病院等への郡内の送迎が月平均+7回(同125%)と増加し、サービス利用時間や1回当たりの利用回数も大幅に増加しています。

在宅で介護されるご家族との情報交換

介護者リフレッシュ事業では、従来の日帰り旅行等の企画に加え、介護者の皆さんのさまざまな「悩み」について意見交換する機会を積極的に設け、実施回数も1回増加しました。



リフレッシュ事業は、介護者の貴重な交流の場です。

◇生活支援ハウス運営事業

入居者4世帯5名(365日 24時間営業)
☆新規入居 1世帯(1名) ☆退所 -世帯(-名)



デイサービスの 営業時間を延長

制度改定等に伴い、平成24年4月より営業時間を午前9時から午後4時15分までに変更。利用者の皆さまにご不便とご負担をお掛けしましたが、ほぼ前年度並みのご利用をいただきました。

利用状況では、居宅介護支援事業と同様に、重度の方のご利用が前年度の約1.5倍と大幅に増加しました。



◇介護保険事業

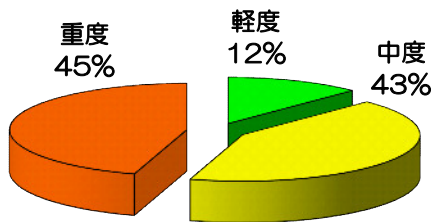


	営業日	利用者	延利用回数
1 居宅介護支援事業	245日	40名 ◎新規 12名	356回
2 通所介護（デイサービス）	256日	31名 ◎新規 12名	3,094回
3 訪問介護（ホームヘルプ）	308日	16名 ◎新規 4名	2,282回
4 障がい者ホームヘルプ	308日	1名 ◎新規 -名	470回
移動支援サービス		1名	63回

<居宅介護支援事業>

介護状態別ケアプラン作成状況（延件数）

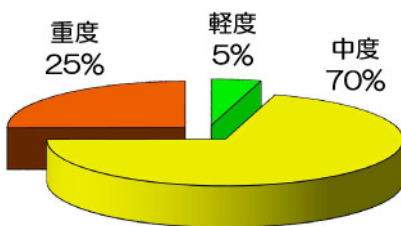
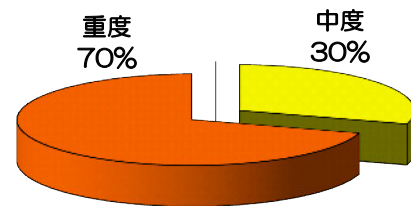
	24年度	23年度	増減
軽度	44件	18件	+26件
中度	151件	209件	△58件
重度	161件	110件	+51件
合計	356件	337件	+19件



<デイサービス>

介護状態別利用状況（延人数） ◎1日平均利用者 12.1人

	24年度	23年度	増減
軽度	-人	-人	-人
中度	921人	1,733人	△812人
重度	2,173人	1,438人	+735人
合計	3,094人	3,171人	△77人



<ホームヘルプサービス>

介護状態別利用状況（延回数）

	24年度	23年度	増減
軽度	103回	30回	+73回
中度	1,607回	1,859回	△252回
重度	572回	980回	△408回
合計	2,282回	2,869回	△587回

◎延訪問時間 2,298H

身体介護729H/生活援助1,471H/介護予防98H

※1回当たり訪問時間(平均) 60分（前年度比111%）

<障がい者ホームヘルプ> ※移動支援含む

	<24年度>	<23年度>	<増減>
◎延訪問回数	533回	407回	+126回
◎延訪問時間	532H	379H	+153H



デイサービスで園児と交流会
おじいちゃんに抱っこされ、
七夕の願いごとを一緒に飾り
付けました。

訪問介護の利用実績が落ち込み

訪問介護等の利用実績は、月平均△40回（前年度比85%）と大幅に落ち込みました。訪問介護等の利用者はひとり暮らし世帯の割合が高く、生活全般の支援を必要とするため、特に重度の方の増減により、近年、年度により利用実績が大きく変動する傾向にあり、体制づくりの面で課題となっています。

利用状況では、障がい者サービスの利用が増加。又、制度改定等の影響もあり、1回当たりの訪問時間は、平均60分と増加しました。

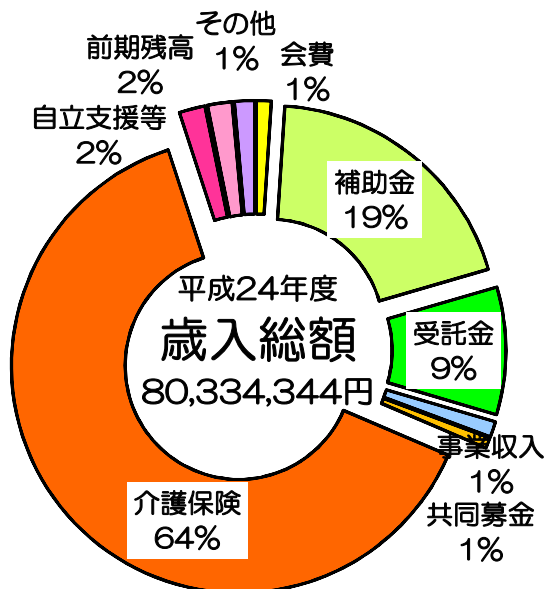
平成24年度一般会計決算

“事業収入の増減、顕著に!”

歳入合計 80,334,344円
 歳出合計 79,007,706円
 差引残高 1,326,638円

歳入

(単位：円)



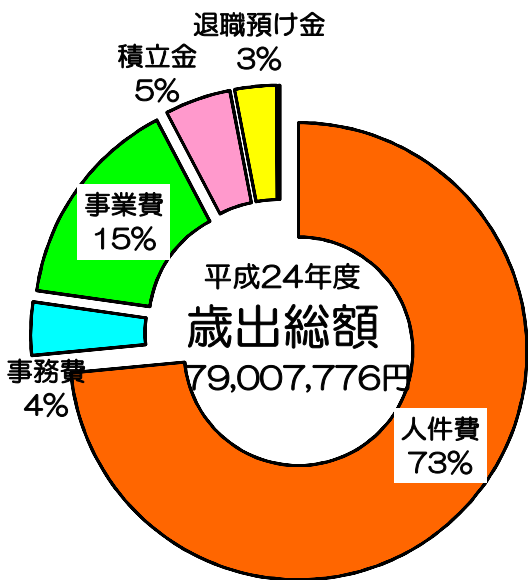
	決算額	前年度決算額	増減
1 会費	845,000	897,000	△52,000
2 寄附金	124,430	162,579	△38,149
3 王滝村補助金	15,622,000	14,662,000	960,000
4 受託金	7,280,431	6,842,274	438,157
5 事業収入	896,550	818,850	77,700
6 貸付事業収入	200,000	210,000	△10,000
7 共同募金配分金	598,863	572,487	26,376
8 介護保険収入	51,053,314	50,554,747	498,567
9 自立支援等収入	1,483,190	1,050,540	432,650
10 前期繰越金	1,407,213	2,100,000	△692,787
11 その他	823,353	709,460	113,893
合計	80,334,344	78,579,937	1,754,407

※ 実質歳入決算額で、経理区分間繰入金等を除く。

※ 「事業収入」は介護保険事業、受託事業以外の利用料等。「自立支援等収入」は、障がい者ホームヘルプサービスに係る収入。

歳出

(単位：円)



	決算額	前年度決算額	増減
1 人件費	58,065,384	55,467,269	2,598,115
2 事務費	2,958,877	2,958,865	12
3 事業費	11,908,265	12,055,879	△147,614
4 貸付事業支出	0	300,000	△300,000
5 退職共済預け金	2,335,196	2,252,796	82,400
6 基金・積立金積立	3,677,484	4,166,615	△489,131
7 その他	62,500	61,300	1,200
合計	79,007,706	77,262,724	1,744,982

※ 実質歳出決算額で、経理区分間繰出金等を除く。

～平成24年度 監査意見よい～

◇中長期的視点に立った体制整備

平成24年度事業に当たっては、訪問介護事業など一部で利用実績が大きく減少する事業も見受けられたが、今後とも安定したサービス提供を持続できるよう、引き続き、有資格者をはじめとした人員確保並びに中長期的視点に立った体制整備に留意するよう努められたい。

平成24年度の決算額は、前年度比十一万七千四百円（+2.2%）の増額となりました。

歳出決算の64%を占める介護保険事業等の収入は、制度改定等の影響で全体としては僅かに増加しましたが、訪問介護事業等では、利用実績の減少により、前年度比△16%と大幅に収入が減少しました。一方、歳出面では、通所介護事業における体制整備や生活支援サービスの利用者増加等により、人件費が前年度比+5%の増額となりました。

介護サービス等では、利用頻度の高い独居世帯の方の増加等により、年度間での収入の増減が著しく、改めて計画的な積立金の留保等による中長期的な視点に立った財務運営が必要となっています。



地域福祉推進事業の内訳

①地域福祉推進事業	6,234,603
②ボランティアの育成・支援	399,000 ○
③社会福祉大会 (福祉・健康の集い)	475,578 ○◎
④福祉教育の推進	30,656 ○
⑤調査広報事業	140,609 ◎
⑥どんぐり広場/ミニ児童館	172,292 ○◎
⑦会食会 ほか	143,917 ○◎
⑧高齢者エアロビクス教室	191,788 ○
⑨お楽しみ弁当	404,390 ○
⑩ごたくらび	99,218 ○◎
⑪障がい者希望の旅	53,999 ○
⑫障がい者交流会	27,062 ○
⑬福祉団体の育成・支援等	20,000 ◎

☆ 内、利用者の皆さまの利用料等 計463,250円
(対事業費支出 35%)

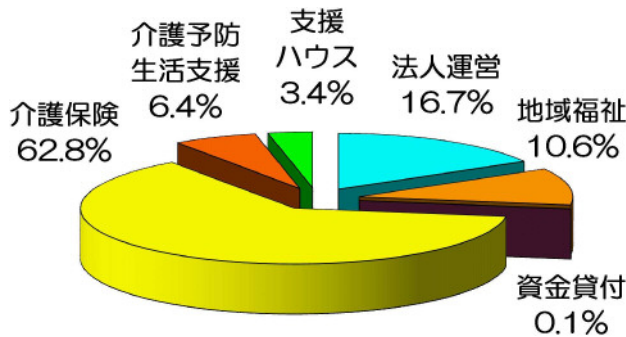
※ 「○」は会員の皆さまの年会費を充当(計10事業)
※ 「◎」は共同募金配分金事業(計6事業)

事業別歳出決算額の内訳

(単位：円)

	決算額	前年度決算額	増減
1 法人運営事業	13,226,724	11,841,054	1,385,670
2 地域福祉推進事業	8,393,112	8,970,195	△577,083
3 介護保険事業	49,660,650	48,905,353	755,297
4 介護予防・生活支援事業 (地域支援受託/村受託事業)	5,022,551	4,492,874	529,677
5 資金貸付事業	50,289	374,248	△323,959
6 生活支援ハウス運営事業 (村受託事業)	2,654,380	2,679,000	△24,620
合計	79,007,706	77,262,724	1,744,982

※ 法人運営事業は基金組入額及び法人安定化積立金(2,604,313円)を含む。
※ 介護保険事業は固定資産積立金(1,070,882円)を含む。



介護予防・生活支援事業の内訳

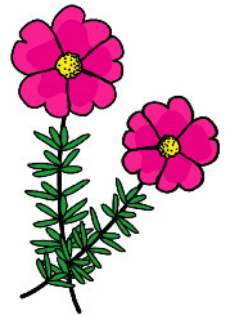
①いきいきサロン	289,815
②配食サービス	2,202,671
③生活支援ホームヘルプ	41,047
④介護教室	50,494
⑤介護者リフレッシュ	57,123
⑥外出支援サービス	2,213,850
⑦軽度生活援助サービス	88,813
⑧心配ごと相談所	78,738

☆ 内、利用者の皆さまの利用料等 計1,638,300円
(対事業費支出 72%)

介護保険事業の収支

(単位：円)

	居宅介護支援	通所介護	訪問介護	合計
歳出決算額 a	3,981,777	31,180,533	13,427,458	48,589,768
介護保険収入他 b	5,184,750	35,171,963	11,720,804	52,077,517
過不足額 b-a	1,202,973	3,991,430	△1,706,654	3,487,749
(固定資産積立金)	715,000	355,882	0	1,070,882
(その他事業繰出金)	137,973	2,958,910	△1,706,654	1,390,229
(次年度繰越金)	350,000	676,638	0	1,026,638



※ 「介護保険収入他」は、法人安定化積立金への積立額分を除く。内、利用者の皆さまの利用料 計7,548,629円

居宅介護支援事業は雑収入(715,000円)を含む。 ※ 「その他事業繰出金」は他事業の財源不足額の補填額(法人運営事業へ1,145,564円/地域福祉推進事業へ244,665円)

H24 基金・積立金の状況

H25.3.31現在

(単位：円)

基金・積立金	積立額	取崩額	残高	用途
地域福祉基金 ※地方交付税財源	0	0	69,953,074	◎果実運用(社会福祉事業へ)
	104,313	0	10,556,387	一般寄附金の積立
	2,500,000	0	25,000,000	◎果実等運用(地域独自の福祉サービスへ)
福祉基金 ※寄附金等財源	0	0	1,070,882	介護保険収入剰余額の積立
	0	0	16,490,653	◎基盤整備、介護保険経営補填準備金
	0	0	0	◎消耗資産の更新準備金(8件)
法人安定化積立金	0	0	0	
	0	0	0	
	0	0	0	
固定資産積立金	0	0	0	
	0	0	0	
	0	0	0	

※ 平成24年度は、経費削減等により、基金、積立金からの取り崩しは致しませんでした。(取崩予算額 1,695千円)

※ 法人安定化積立金は、基幹的な人身体制整備のための人件費財源の確保、及び介護保険事業が赤字決算の場合の財源補填等を目的に積み立てています。

※ 固定資産積立金は、サービス運営に不可欠な車輛等の固定資産について、償却年数の古い資産から優先的に積み立てています。

はじめよう！ ボランティア



登録者 105名 (H25.4現在)

ともに支え合い、誰もがいきいきと安心して暮らせる地域づくりのために、あなたの力が必要とされています。まずは自分のできることを・・・個性を活かしたあなたらしいボランティア始めてみませんか！（社協へボランティア登録いただくと、ボランティアが必要な方への活動紹介や、活動する中間の募集、また、ボランティア保険への登録ボランティアの加入が可能になります。）

登録ボランティア 活動メニュー

○社協事業への協力

<活動メニュー>	<活動内容>
1 つくい隊 <登録者 54名>	月に1回、交代で季節のものや地元の食材などを使った「お楽しみ弁当」をつくっています。個人でも、気の合う仲間のグループでも登録できます。年2回（5月、9月）の特別企画もあります。
2 配 食 <登録者 28名>	配食サービス（平日/昼食・夕食）とお楽しみ弁当（月1回）のお弁当をお配りしています。利用者とのちょっとした会話も楽しみ！ご自分の都合の良い曜日や回数で活動できます。
3 食材提供 <登録者 9名>	ご家庭でとれた野菜や漬け物などを、お弁当やデイサービスなどの食材に使わせていただいています。
4 お助け隊 <登録者 19名>	趣味や特技などを活かして、社協の諸事業や施設周りなどで協力いただいています。おやつ作り・料理、手芸・工作、演奏・演芸、力仕事、話し相手など、どんな内容でもOKです。

○グループ等での自発的な活動

5 おどい <登録者 2名>	保健福祉センターや郡内の施設で、日本舞踊などの踊りを披露し、利用者のみなさんと交流しています。
6 絵手紙 <登録者 10名>	思い思いの花や野菜などをご自宅で描いて、ひとり暮らしのお年寄りなどへ季節のお便りをお届けしています。社協のお楽しみ弁当の包み紙も交代で描いています。
7 子守り <登録者 10名>	社協のどんぐり広場や学校の行事などの際に、子どもたちの世話や遊び相手をしています。こどもが好きな方であれば、どなたでも参加いただけます。
8 環境美化 「ぼちぼち」	保健福祉センターや公共施設の花壇の整備や草取りなどを行っています。自分に合ったやり方で、都合のよい時間に活動できます。 <登録者 10名>
9 傾 聴 「傾聴ボランティア木曾」	郡内の施設等へ出かけ、利用者のお話しに耳を傾け話し相手をさせてもらっています。郡内の仲間といっしょに活動しています。 <登録者 3名>
10 どんぐり村互房 <登録者 6名>	雑木などを使った小物や手芸作品、手作り楽器など、「ものづくり」を通して交流したり、製品を福祉サービスなどのために活用しています。人前に出るのが苦手な方も歓迎しています。
11 五郎ハ茶屋 <登録者 8名>	毎週土曜日に、下条区の古民家をつかってお年寄りといっしょに簡単な手芸や作品づくりをしたり、お茶を飲んで、おしゃべりしながら楽しく過ごします。

生きがいづくりに！

現在、65歳以上の21%の方が社協にボランティア登録され、登録者全体の3分の2を占めています。高齢者の皆さまにいつまでも自分らしくいきいきと輝いていただくために、「生きがいづくり」としてのボランティアのあり方についても改めて見つめ直し、皆さまが活躍いただける場の提供にも努めて参りたいと考えております。

○その他個人での活動等

<活動メニュー>	<活動内容>
12 ご近所支え合い！ 「安心サポーター」 <登録者 5名>	ご近所で支援を必要とされるひとり暮らしや障がいをもたれた方などが安心した生活を送れるよう、草刈り、雪かき、ゴミ出し、話し相手など、簡単に出来ることからお手伝いをしています。
13 災害救援 <登録者 3名>	災害時に備え事前に登録。被災地や避難所等へ赴き、又、自分の資格や技術などを活かして活動します。自宅のできる内容も・・・。
14 個 人 <登録者 - 名>	趣味や特技などを活かし、自分のペースで自発的に活動します。どんな内容でも、気持ち次第で活動の場は広がります。

脱水症に気をつけよう!

今年の夏は例年になく暑い日が続いていますが、夏場は汗をたくさんかいたり、食欲不振などにより脱水症状が起こりやすくなります。特にお年寄りは、身体に蓄えている水分量が少ないため注意が必要です。こまめな水分補給をして、脱水症を予防しましょう。



1日に必要な水分量 2.5リットル

食事とれる水分は1,000ml程度。その他で1日1,000~1,500ml程度の水分補給に心がけましょう。

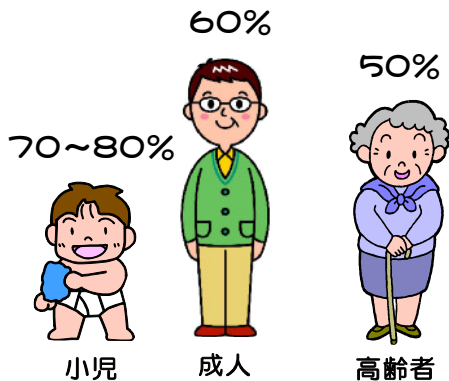


- ☆体を動かしたい、お風呂に入るときは水分補給を心がけましょう!
- ☆食事の合い間に水分を多く取りましょう!
- ☆水分の多い献立に心がけましょう!

◇脱水症のサイン

- 最近、何となくぼんやりとしている。
- おしっこが出る量が少なくなった。
- 指のツメを押してみても、ピンク色に戻るまでに3秒以上かかる。
- 肌や唇がカサカサしている。口の中が乾燥している。
- 微熱が続いている。手足が冷たくなっている。など

体重に占める水分の割合



体内の水分には塩分などの電解質も含まれており、発汗が続くとからだに必要な塩分も失われてしまいます。また、脱水症により発汗が止まると、体温が上がり、頭痛や吐き気などをともない熱中症を引き起こす危険があります。



社協の会員制度は、地域に暮らす皆さまがともに参加し、支え合い、地域に必要なとされる福祉サービスについて共に考えるための制度です。会費は、地域の実情に合ったきめ細やかな福祉サービスを提供するために必要とされています。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

会員・会費制度

にご協力下さい!

個人会員・・・おおむね20歳以上の皆さま

年会費 1口 1,000円
納入期限 8月5日(月)

◎ 福祉推進委員がご自宅に伺います。

法人会員・・・企業、団体の皆さま

年会費 1口 3,000円
納入期限 8月12日(月)

◎ 口座振込、又は保健福祉センターへご持参ください。

平成24年度寄付者ご芳名 (受付順)

たいせつに使わせて頂きます!

寄付総額 104,313円

一般寄付金

団体 (有)環境サービス 様
王滝村婦人会 様
(第23回福祉・健康の集い
/チャリティーマーケット)

団体 郷土料理 ひだみ 様
さわ屋 様
王滝村体育協会バレー部 様
五郎八茶屋 様
王滝観光総合事務所 様

チャリティバザー (売上げ 24,180円)

物品寄贈

日下部美鳥 様
ポータブルトイレ 1台
どんぐり工房 様
万能クリーナー 1缶



どんぐり広場の子どもたちへと、手づくりのかわいい布団を届けて下さいました。

※ この他にも、野菜や手づくりのお菓子、子どもたちのための絵本や手づくりの布団、綿布などの介護用品、手づくりのはしや作品など、心のもったたくさんの頂きものがありました。(計78件)